

## 感染症の発生について(情報提供)

### <概要>

下記のとおり腸管出血性大腸菌(O157)感染症発生の報告が当保健所にありました。

内容につきましては、下記のとおりです。これは感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条に基づく情報の公表です。

病名	腸管出血性大腸菌(157)感染症			
年齢及び性別	8歳・男児			
職業	小学生(3年生)			
住所	四日市市			
発病年月日	平成21年 9月 9日			
診断年月日	平成21年 9月15日			
<b>【患者発生の経過】</b>				
9月 9日	腹痛と発熱(38℃)あり。			
10日	腹痛、下痢(2~3回)、四日市市内の診療所を受診。			
12日	腹痛、下痢、血便症状あり。四日市市内の診療所を受診。通院治療開始。			
13日	症状改善せず、下痢、血便頻回にあり。四日市市内の病院に受診、念のため入院治療開始となる。			
15日	9月12日便検査の結果から、腸管出血性大腸菌(O157)感染症と診断された。 現在(9月15日)、患者に症状はありませんが、引き続き入院治療中です。			
<b>【防疫措置】</b>				
家族・接触者の検病調査及び検便の実施				
<b>【四日市市内の腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】</b>				
平成21年1月1日～平成21年9月15日現在まで本件含む ( )内は三重県内の発生				
	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
患者	5(17)	2(18)	6(35)	2(17)
保菌者	0(15)	3(11)	4(18)	0(10)
計(感染者)	5(32)	5(29)	10(53)	2(27)
<b>【自分で出来る予防対策】</b>				
1 予防の3原則				
①加熱(菌を殺す)				
この菌は熱に弱く、75℃、1分間の加熱で死滅します。				
肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意してください。				
ひき肉は、十分に加熱をしましょう。				
焼肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。				
井戸水は、煮沸してから飲んでください。				
②迅速・冷却(菌を増やさない)				
調理した食品はすぐに食べましょう。				
③清潔(菌をつけない)				
手指や調理器具は十分に洗いましょう。				
2 暴飲暴食は避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保ってください。				
3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けてください。				

### 連絡先

四日市市保健所 保健予防課 (059-352-0595)

担当：内山・栗田